

# 品質系情報(仕様書情報)の 業界標準化に向けた取り組み

＜本件に関するお問合せ先＞

日本GCI推進協議会  
品質系情報標準項目(加工食品)WG

事務局



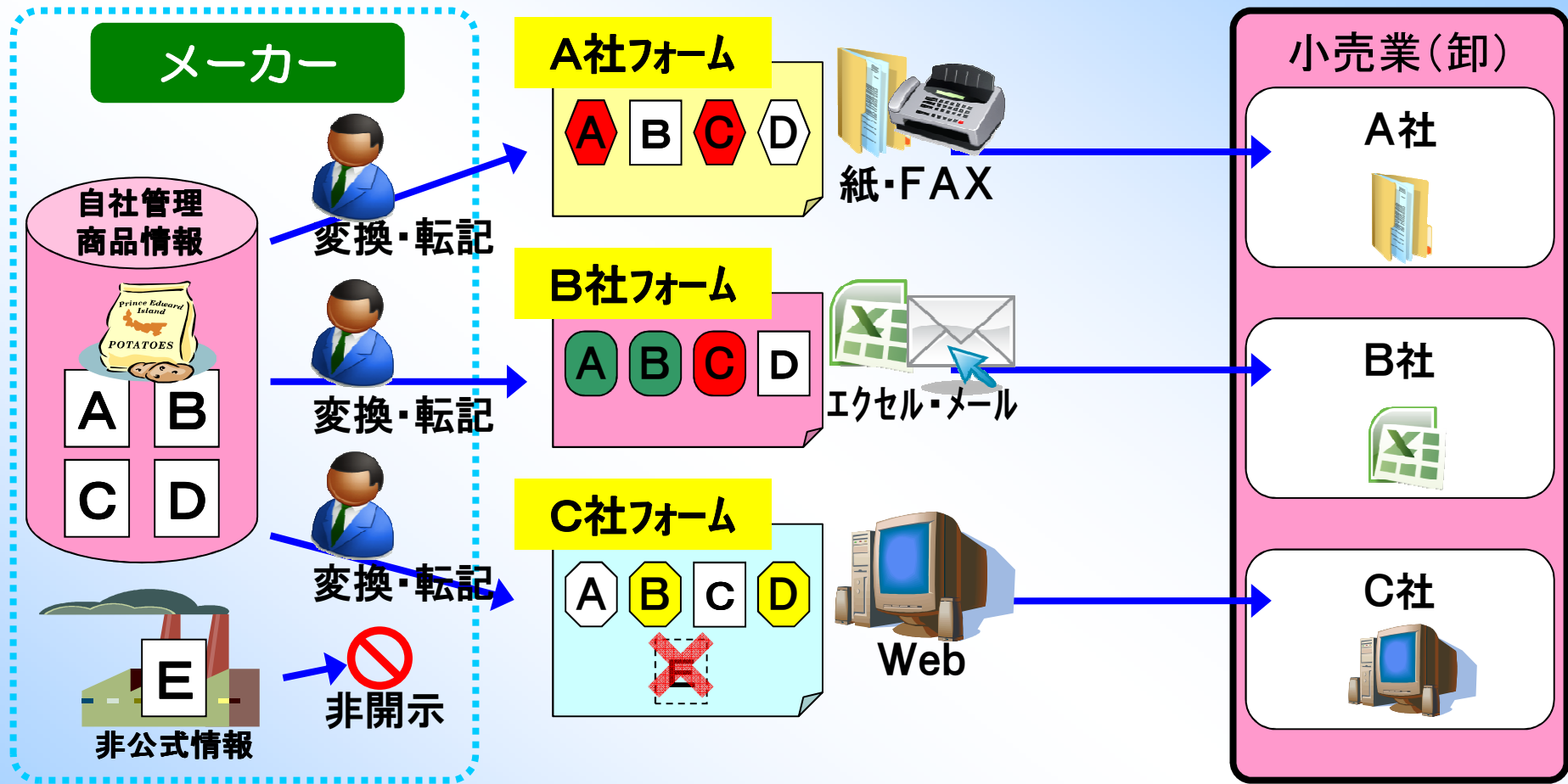
企画・開発部 担当:上野

TEL:03-5643-3472

E-Mail:naoyuki-ueno@finet.co.jp

# 1. 品質系情報授受の現状・課題

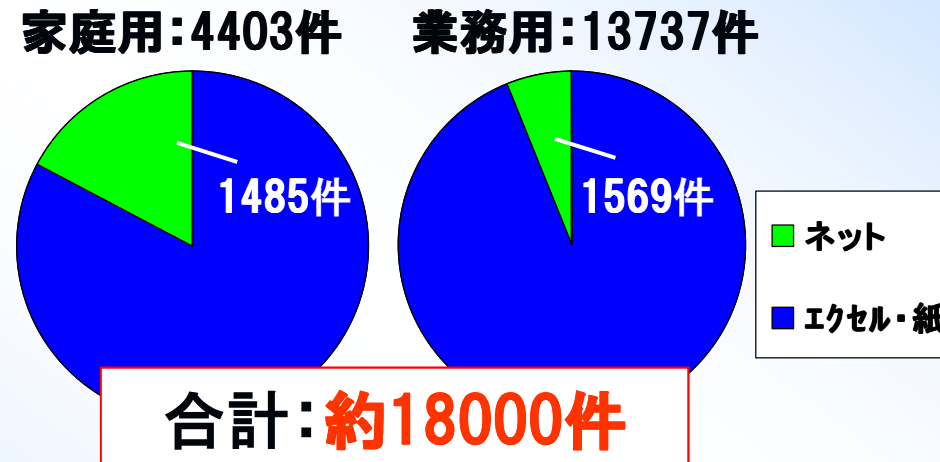
# 品質系情報の授受イメージ【現状①】



- ・メーカー管理情報と異なる小売各社の個別フォーム、項目名称、定義に対応する負担
- ・一般的にメーカーが開示しない項目を要求するが情報が集まらないムダ

## 品質系情報の授受イメージ【現状②】

### 大手メーカーA社の08年度仕様書提出状況



1. 得意先様のオリジナル仕様書の依頼 **約1300種類**
2. 年々記入項目が増加  
(例: 原料原産地情報、農産品の肥培管理、農薬検査状況)
3. 安全等の証明書提出の増加  
(例: 原料の安全証明、商品の安全証明、細菌試験結果)
4. 作業増加による経費の拡大

## 2. 品質系情報項目の標準化

〔 GCIジャパン 08年度 品質系タスクフォース  
09年度 品質系ワーキング 〕

# 検討概要

## 1) 目的

製配販三層にて授受される“品質系情報(仕様書項目)の名称・定義・型”および“運用ルール”の共通化・標準化を図る

- ① 情報提供側における、**情報作成の負担軽減**につなげる
- ② 情報利用側における、**正確で効率的な情報の入手**につなげる
- ③ 品質系情報をシステムとして提供している**システムベンダーへ標準化項目対応**の理解を得る

## 2) 検討範囲(項目・カテゴリ)

◆**小売業が商品を取り扱うために必要とする以下の項目**

- ① 取り扱いの判断に必要な項目
- ② 一括表示の作成に必要な項目
- ③ 商品販売開始時(後)の各種対応に必要な項目

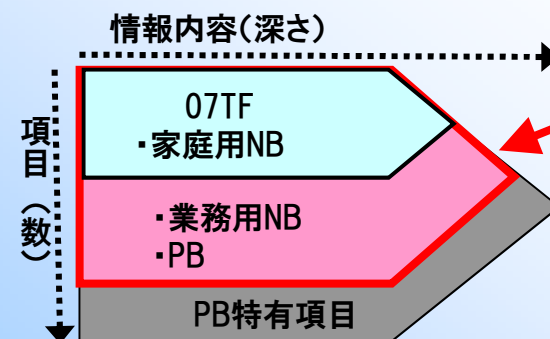
◆**インスタ加工用原材料商品**(イメージ図の**赤線枠**の部分)

※家庭用NB商品については、07 TF の「146項目」を前提とする

※個別の取引条件や**PBであるが故のさらなる詳細の項目は含まない**

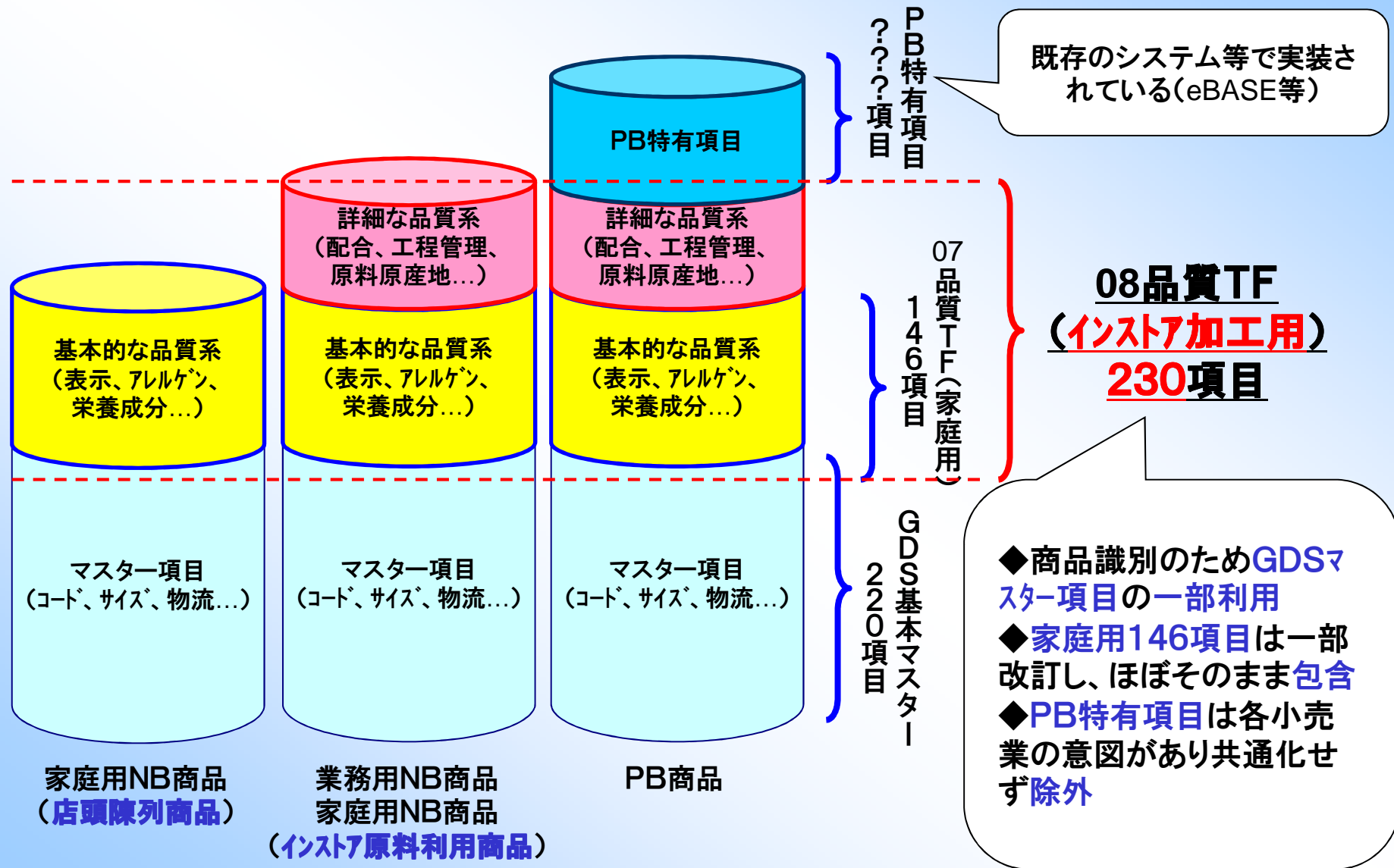
※情報の「最小単位」は、メーカーが示す同一商品(同JAN、同メーカーPVC、など)とする

<イメージ図>

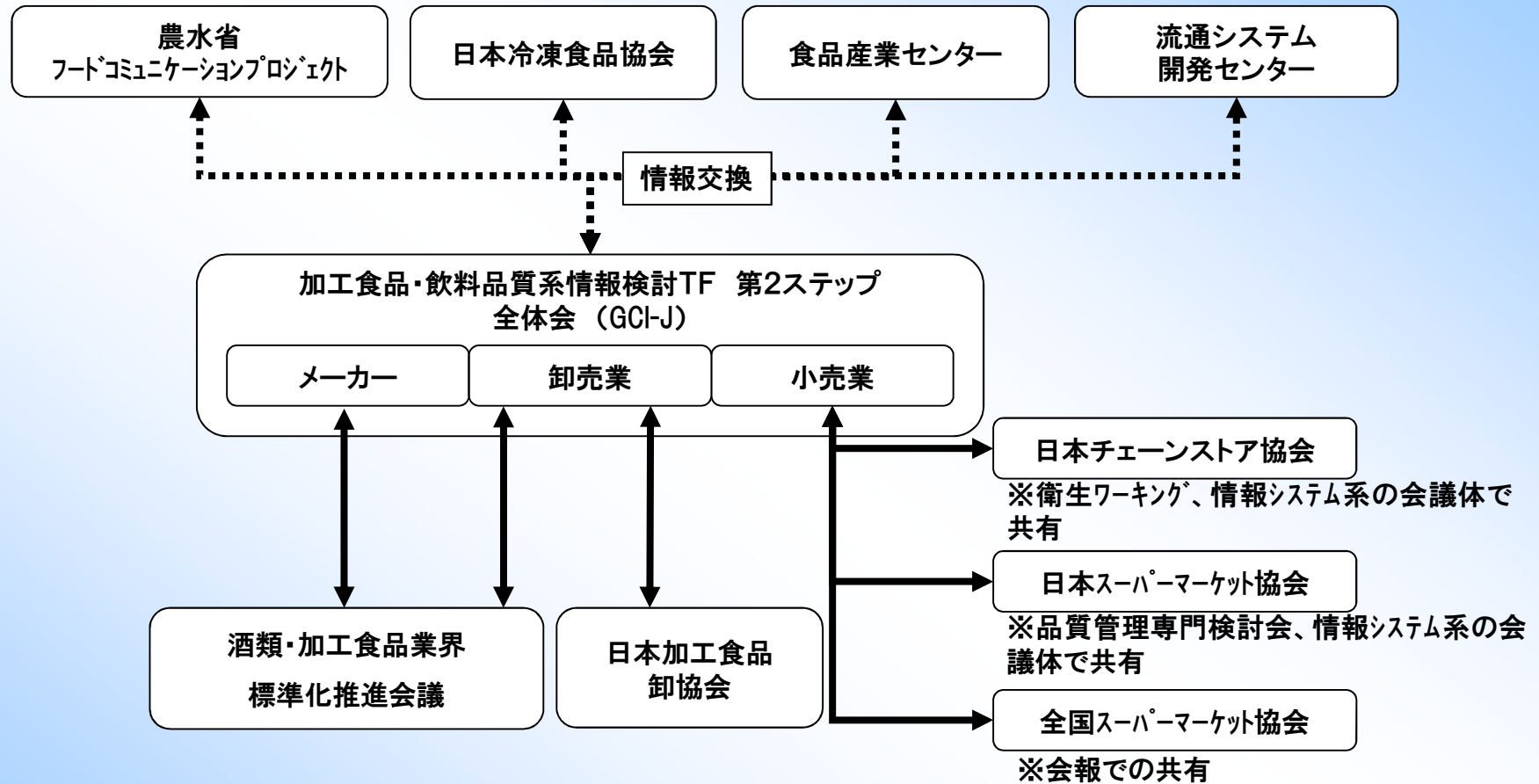


**NB品の範囲が対象**  
※PB特有項目は含まない

# 補足：検討範囲の考え方



# 関連団体との連携



- ・情報共有、意見交換を不定期に実施
- ・各団体の会議体、会報等での普及推進の実施

# 成果物「品質系情報標準項目(加工食品)」(略称「品質230」)

## 『品質系情報標準項目(加工食品)Ver. 01』として 全230項目で合意 (2010年4月 Ver.1.10に改訂予定)

### 参加企業

#### <小売業(7社)>

★イオン株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、★日本生活協同組合連合会、  
ユニー株式会社、株式会社シジシージャパン、  
株式会社ライフコーポレーション、株式会社ヤオコー

#### <卸売業(4社)>

伊藤忠食品株式会社、加藤産業株式会社、株式会社日本アクセス、  
株式会社菱食

#### <メーカー(8社)>

味の素株式会社、花王株式会社、カゴメ株式会社、★キューピー株式会社、  
ハウス食品株式会社、★株式会社ニチレイフーズ、株式会社ミツカン、  
株式会社ミツカンナカノス(2009年3月(株)ミツカンに統合)

#### <リーダー・事務局>

株式会社ファイネット

★ … 各業態のリーダー企業

# リスト構成・項目内訳

## <リスト構成>

品質系情報標準項目(加工食品) Ver. 01

230項目全てが開示、活用義務のある項目ではなく、230項目から選択するイメージ(最大値が230項目)

※ 授受される情報は、提供側の開示可能範囲とし、利用側の要求に応じて、契約や条件等を結ぶことを推奨します。

No.	他標準との関連 GDS標準マツカ (212項目)	品質TF 項目 (家庭用NB)	分類	項目名	項目の定義	項目の説明(用途・例など)	型 【型】X: 半角英数字, N: 全角文字, 日付: YYYYMMDD
1	42		管理	メーカーコード(代表メーカーコード)	商品の提供企業を表す。複数のGLNを取得している場合は、代表GLNを指定する。		X 13
2		1	管理	品質情報作成承認日	メーカーの品質情報を作成した責任部署が、作成した内容を承認した日を登録します。		日付 8
3			管理	販売開始時期	その商品の発売開始時期を登録します。(正確な日付が不明な場合は、月、年など大まかで可)		N 40
7		2	管理	メーカー不適合品	正式商品と異なるメーカーの商品を登録する。		N 100
		3	管理	商品登録者	商品登録者の名称を登録する。		X 100
			管理	登録者	登録者の名称を登録する。		X 100
			管理	日本国	商品の原産国を登録する。		X 100
			管理	管理番号	仕様書自体を管理する番号。		X 100
11			管理	管理番号	仕様書自体を管理する番号。		X 100
12	54改		容量・寸法	定費/不定費区分	定費表示商品か否か。		X 1 Y・N

No  
項目  
番号

項目名

項目の定義

項目の説明  
(用途・例など)

型  
(長さ・整数・  
少数・選択)

## <項目の内訳>

【管理(11)】 ... 商品識別、仕様書識別に関連

【容量・寸法(8)】 ... 商品重量、サイズに関連

【日付(11)】 ... 製造年月日、品質保証期間、  
例外保証期間など

【工場(5)】 ... 所在地、ISO・HACCP取得有無など

【製造者(3)】 ... 社名、所在地、PL保険など

【加工者(5)】 ... 所在地、ISO・HACCP取得有無など

【販売者(3)】 ... 社名、所在地、PL保険など

【輸入者(3)】 ... 社名、所在地、PL保険など

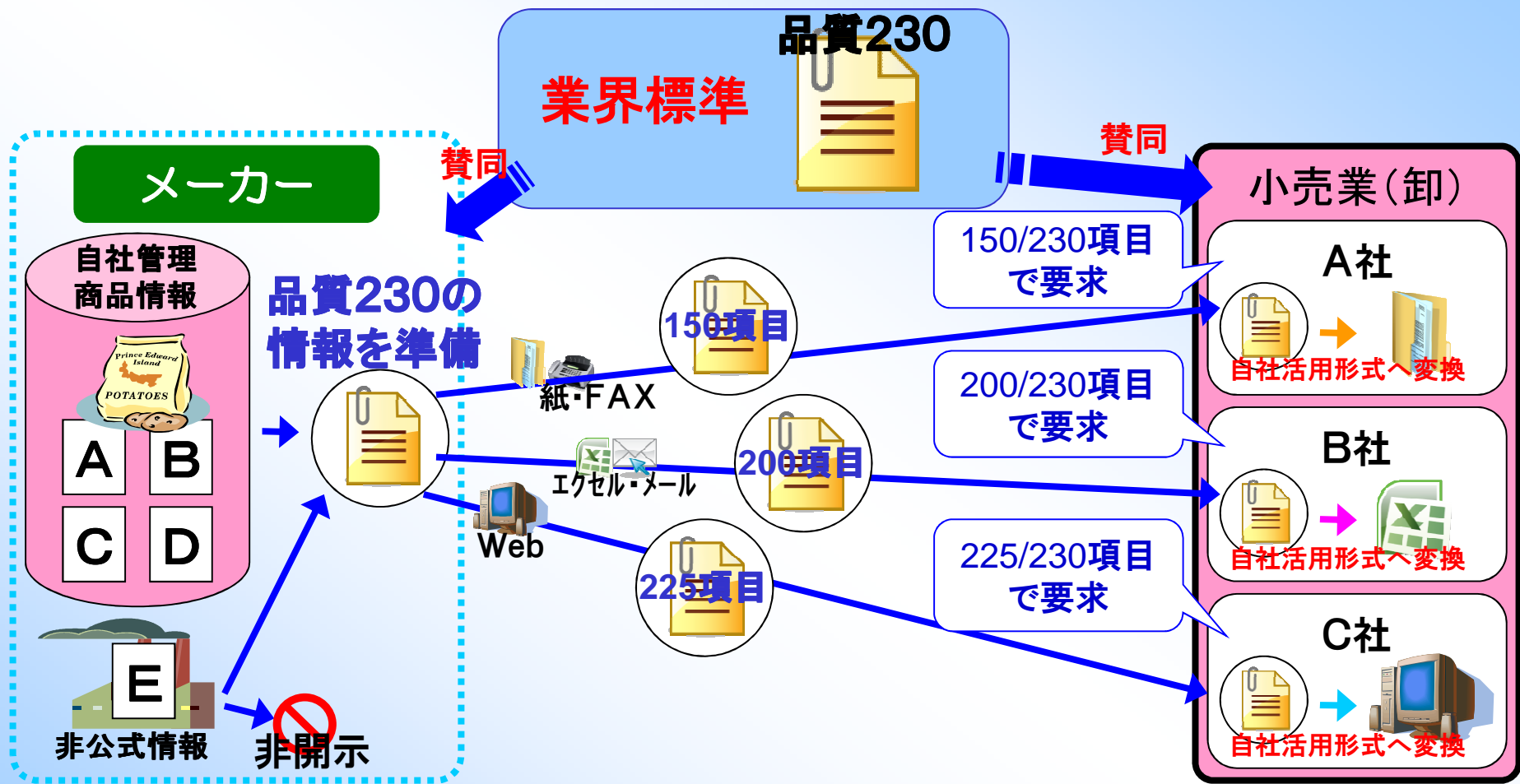
【工程・品質(12)】 ... 工程管理、品質検査、  
品質保持剤など

【表示・画像(145)】 ... パッケージ表示情報、アレルギー、  
栄養成分値、画像など

【原材料(23)】 ... 原材料名、配合比、産地など

【その他(1)】 ... 備考

# 品質230での品質系情報の授受想定イメージ

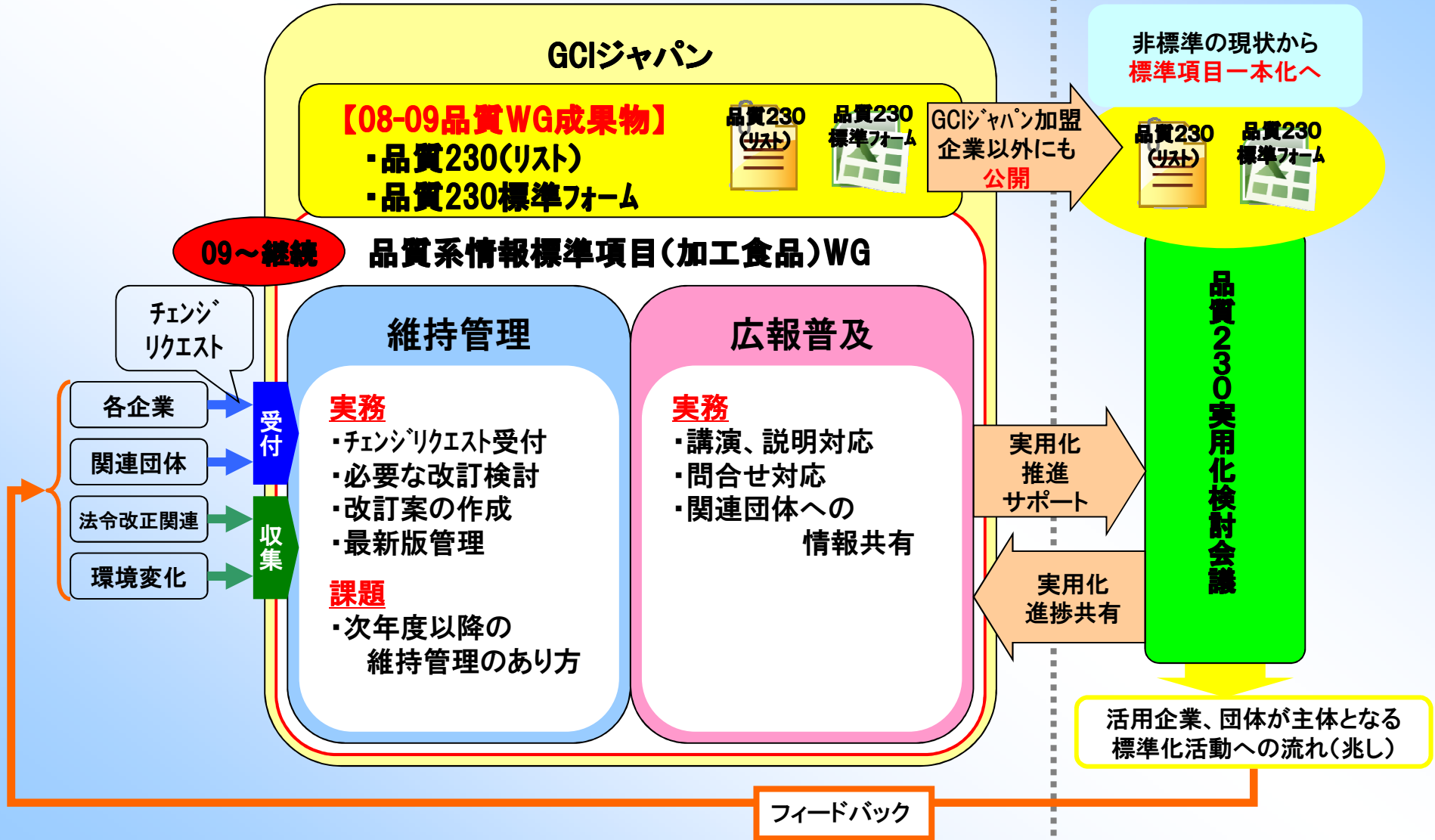


- ・メーカーは品質230に合わせた情報を自社管理情報から準備しておく
- ・小売(卸)は品質230から必要項目を選択して要求する
- ・一定の情報が必要時迅速に、正確に、効率的に授受される

# 維持管理体制 ～GCIジャパン品質WG～

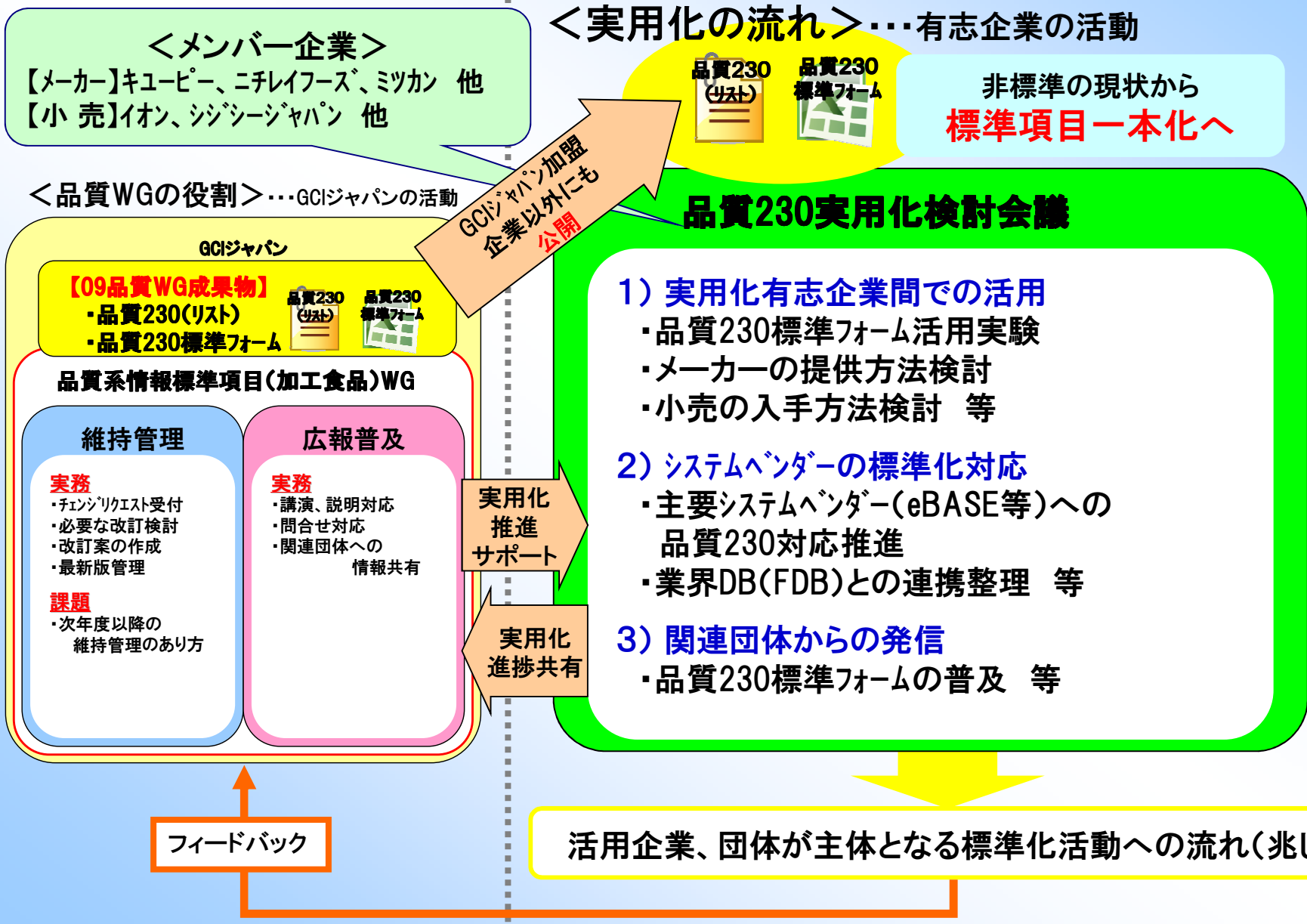
<品質WGの役割> ...GCIジャパンの活動

<実用化の流れ> ...有志企業の活動



### 3. 実用化の具体的検討

# 実用化検討の場 ～品質230実用化検討会議～



# 品質230標準フォーム(09品質WG成果物)

※この書式は、加工食品業界の企業間で授受される品質系項目の標準化を推進するGCIジャパン「品質系情報標準項目(加工食品)Ver. 01」に対応しています。

管理番号

## 標準商品カルテ【加工食品】(Ver.1.0)

◆お取引先様情報◆

会社名				担当者名	
住所					
電話	FAX			メールアドレス	

◆管理情報◆

<2>品質情報作成承認日	<3>販売開始時期
<4>メーカー正式商品名	
<10>荷姿規格	
<5>共通商品コード	<9>商品種別識別区分
<7>メーカープライベートコード	<8>JICFSコード(標準分類)
<1>メーカーコード(代表メーカーコード)	<6>GTIN

◆関連企業情報◆

<36>製造者名	<38>PL保険加入の有無
<37>住所	
<31>工場名	<33>工場非公開理由
<32>住所	
<34>ISO取得状況	<35>HACCP取得状況
<39>加工者名	<43>PL保険加入の有無
<40>住所	
<41>ISO取得状況	<42>HACCP取得状況
<44>販売者名	<46>PL保険加入の有無
<45>住所	
<47>輸入者名	<49>PL保険加入の有無
<48>住所	

◆容量・寸法情報◆

商品サイズ					定賞/不定賞区分	
荷姿	<15>幅(mm)	<16>高さ(mm)	<17>奥行(mm)	<13,14>内容量(単位)	<18,19>総重量(単位)	

◆日付情報◆

<20>製造年月日の表示有無	<21>製造日表示例
<22>賞味期限・消費期限の表示有無	<23>期限表示例
<24>賞味・消費区分	<25>品質保証期間値(単位)
<26>例外日付管理期間(開始~終了)	<27>例外管理期間値(単位)

<保存条件変更時>

<59>品質保持期間設定区分	<60>保存条件
品質保持期間	

<品質保持剤>

<58>品質保持剤の有無	<57>種類	<58>名称

## <目的>

- ①メーカーの登録支援ツールとして  
品質230リストでは登録イメージがわきにくい
- ②卸・小売業の標準商品カルテとして  
未だ中小企業では品質系情報の整備が途上
- ③初期の企業間授受ツールとして  
品質230の授受手段は標準化されず、また事実上エクセルでのやり取りが未だ主流

## <内容>

### I. 標準フォーム

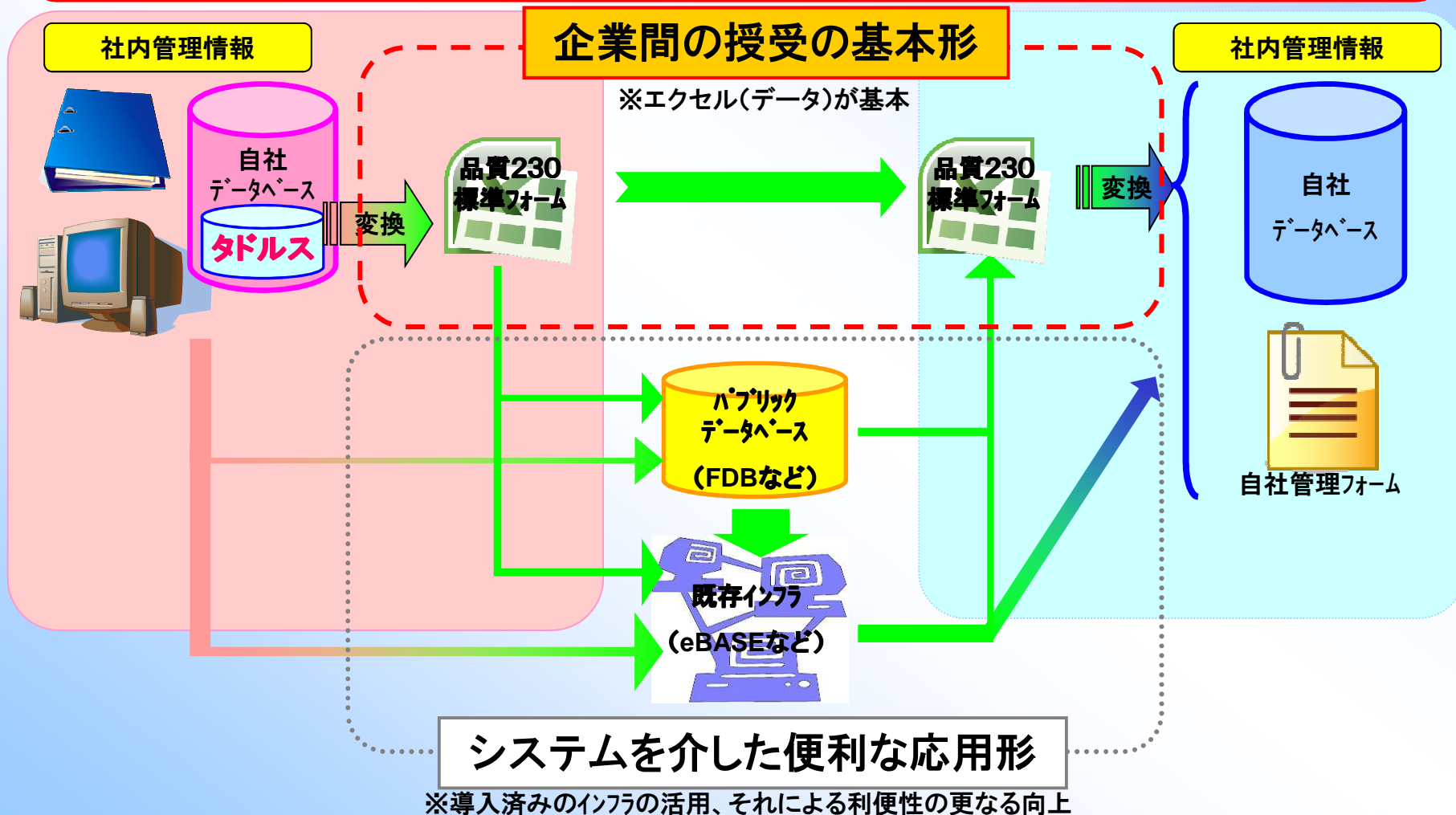
- ・230項目全てを登録できる
- ・メーカーで準備する際のイメージ

### II. 主要項目版

- ・実際に多くの小売業が要求している項目を抜粋
- ・現在まだ品質情報の整備が進んでいない中小企業における基本フォームとしての活用も考慮

# 品質230標準フォーム活用の考え方

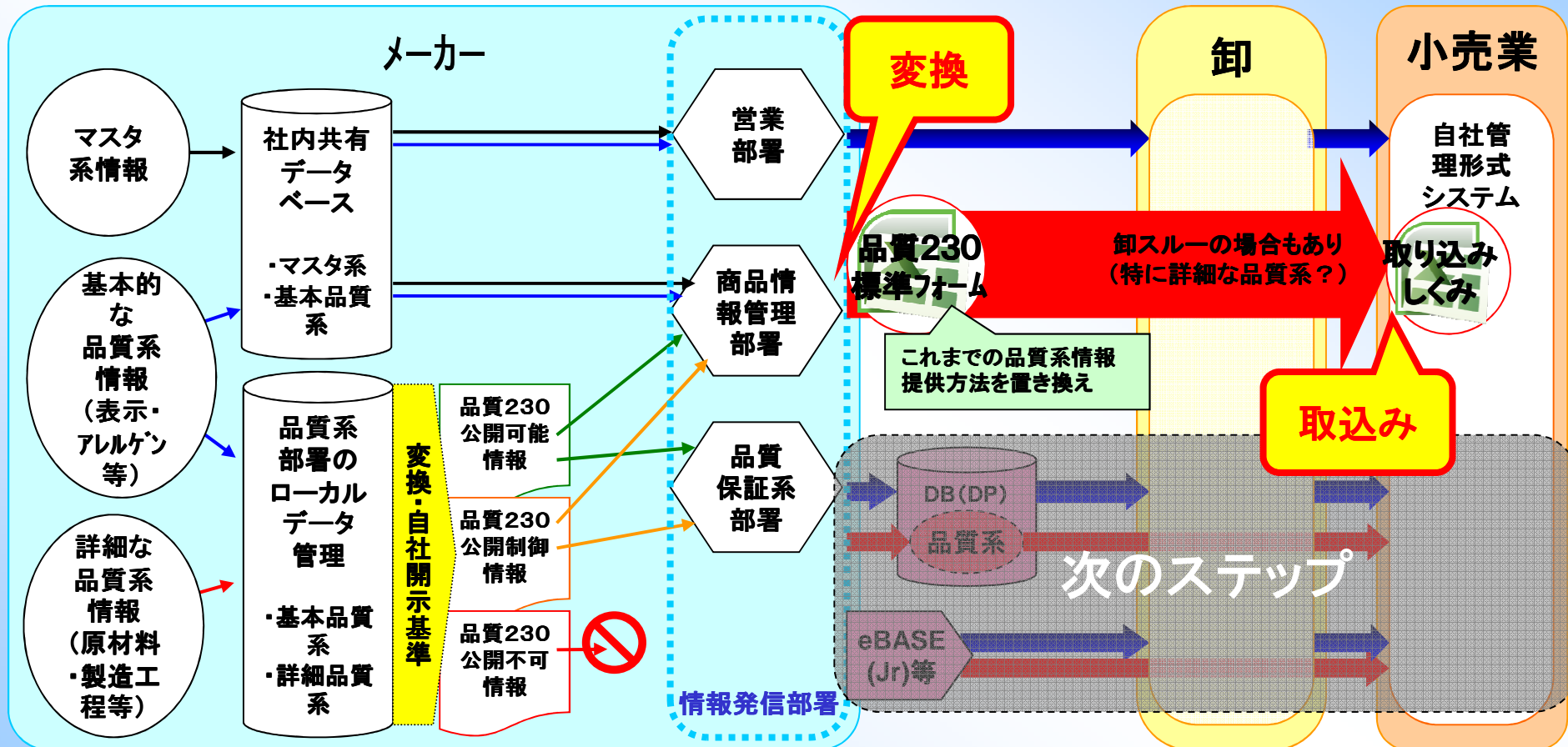
- ・品質230の授受の基本形(ツール)を「品質230標準フォーム」と考える
- ・既存インフラを利用した授受の方法を「利便性向上の応用形」と考える



# 品質230標準フォームの活用実験イメージ

メンバー企業間で実際に活用実験を予定(5月～)

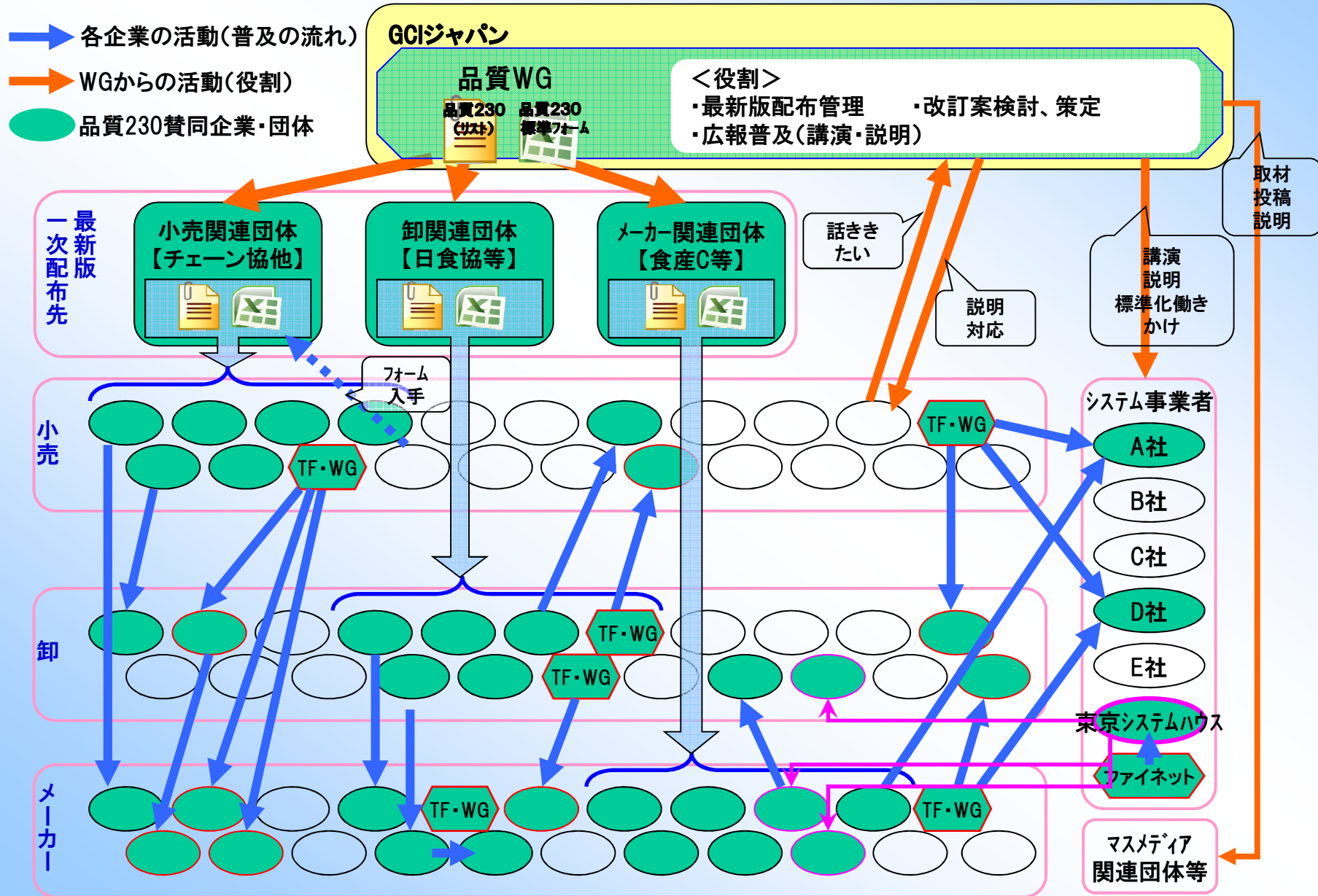
➡ マスタ系・基本的な品質系の情報  
➡ 詳細な品質系の情報



- メーカー内情報から品質230項目(公開基準対応)への変換、エクセルの作成方法、負荷計測など
- 賛同企業ごと個別の「取り込みしゅみ」の検討(システムベンダーへの対応など)
- マスタ系等、標準エクセルフォーム(品質230項目)以外の項目の出し方、受け方

# 品質230普及プロセスイメージ

※イメージであり、現在や確定したものではありません



無断での複製・転用・転載を禁止いたします